

令和5年度

公開実力テスト

小 6

社 会

(タイプ01)

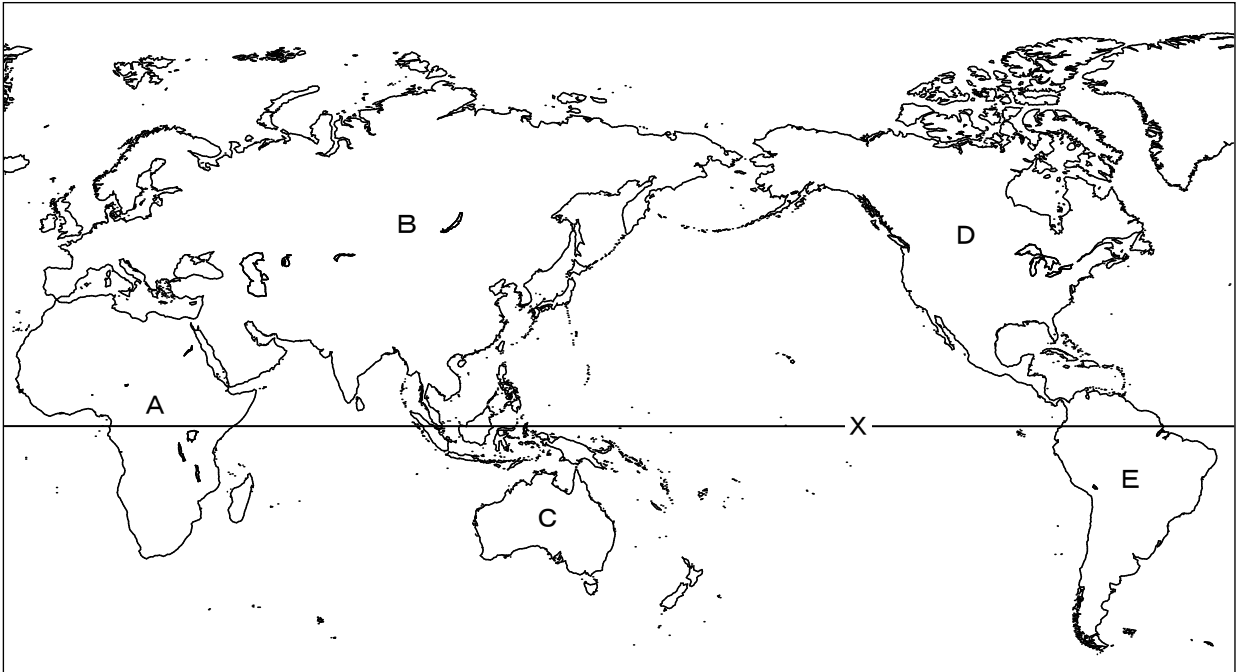
注 意

1. この用紙は、先生の合図があるまで、開いてはいけません。
2. 問題は5ページあります。どの問題から始めてもかまいません。
3. 時間は20分です。
4. 答えは、別紙の解答用紙に、はっきりとていねいに書きなさい。
5. 「やめ」の合図があったら、筆記用具をすぐに置きなさい。

1 世界のすがたと日本のすがたについて、あとの問いに答えなさい。

(1) 地図1について、①、②の問いに答えなさい。

地図1



① 地図1中のA～Eの大陸を、面積の大きい順に並べたとき、次の 中の(あ)、(い)にあてはまる記号をそれぞれ書きなさい。

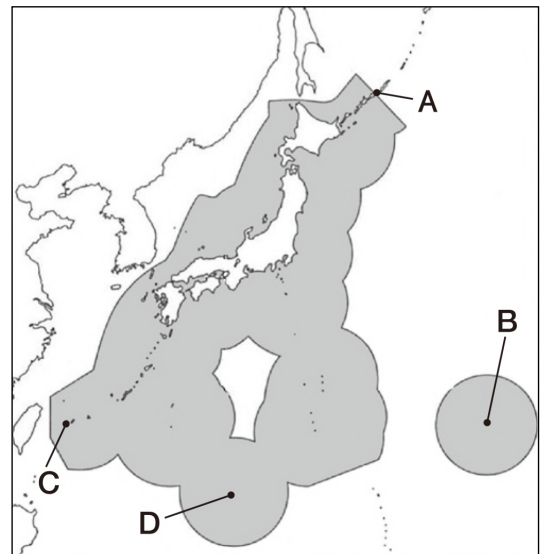
B → (あ) → D → (い) → C

② 地図1中のXの線は、0度の緯線いさんを示しています。この線の名前を漢字2字で書きなさい。

(2) 右の地図2のA～Dは、日本の北、南、東、西のはしを示しています。A～Dのうち、次の文が示す島はどれですか。その位置を記号で書きなさい。また、その島の名前を書きなさい。

この島は、波のしん食によって水ぼつするおそれがあったため、1987年に200海里水域はいた〔排他的経済水域〕を守るための護岸工事が行われた。

地図2



② 日本の産業について、あとの問いに答えなさい。

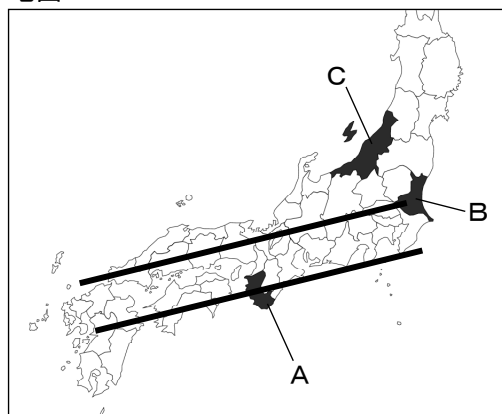
(1) 日本の工業について、①、②の問いに答えなさい。

① 日本の工業がさかんな地域は、地図中に **====** で示した太平洋側の海ぞいの地域に広がっています。帯のように広がったこの地域は何とよばれていますか。その名前を書きなさい。

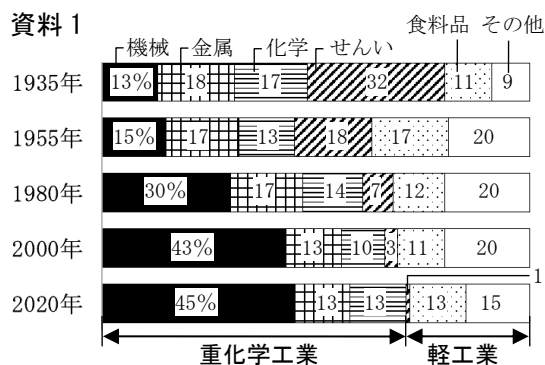
② 資料1は、日本の工業生産額の推移と工業の占める割合を示しています。資料1について述べた次の文中の a、b の () にあてはまる語句をそれぞれ選んで書きなさい。

日本の工業は、1955年までは a (重化学 , 軽) 工業が5割をこえていたが、その後は、機械工業などの割合が高まり、 b (重化学 , 軽) 工業が発達していった。

地図



資料1



「日本国勢図会 2023/24」により作成

(2) 資料2は、地図中のA～Cの県の米、野菜、くだものの生産額を示しています。地図中のA～Cの生産額を示すものを、資料2のA～ウからそれぞれ1つずつ選び、記号で答えなさい。

資料2

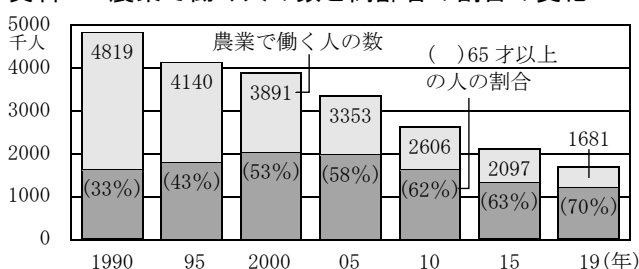
(単位: 億円)

	米	野菜	くだもの
ア	78	141	759
イ	1,503	321	92
ウ	756	1,645	97

「データでみる県勢 2023」により作成

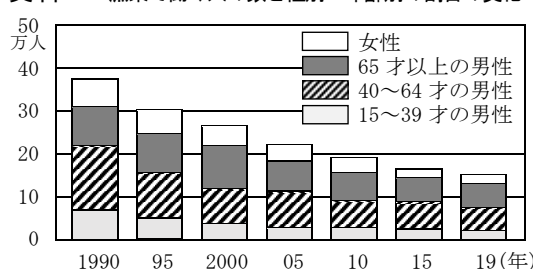
(3) 日本の農家や漁業にたずさわる人たちは、さまざまな課題をかかえています。資料3と資料4から、日本の農業と漁業に共通する問題点としてどのようなことが考えられますか。「働く人」、「高齢者」という2つの語句を使って、簡単に書きなさい。

資料3 農業で働く人の数と高齢者の割合の変化



「日本国勢図会 2023/24」などにより作成

資料4 漁業で働く人の数と性別・年齢別の割合の変化



「漁業就業動向統計年報」により作成

③ 政治について、あとの問いに答えなさい。

- (1) 右の資料 1 は、日本国憲法の 3 つの原則のうちの 1 つに関係する文です。資料 1 に関係が深い原則は何か、書きなさい。

資料 1

日本国民は、正義と秩序にたつ国際平和を心から願って、戦争や武力を用いることは、国々との間の争いを解決する手段としては、永久にこれを放棄する。

この目的を達するため、陸海空軍その他の戦力はもたない。国の交戦権は認めない。

- (2) 右の資料 2 は、教科書の裏表紙に書かれていることばです。

資料 2 中の下線部が行われる理由には、国民がある権利をもち、それと同時にある義務が定められているからです。その権利と義務を次のア～カの中から 1 つずつ選び、記号で書きなさい。

資料 2

この教科書は、これからの日本を担う皆さんへの期待をこめ、税金によって無償で支給されています。大切に使いましょう。

<権利>

<義務>

ア 仕事について働く権利

エ 仕事について働く義務

イ 教育を受ける権利

オ 税金を納める義務

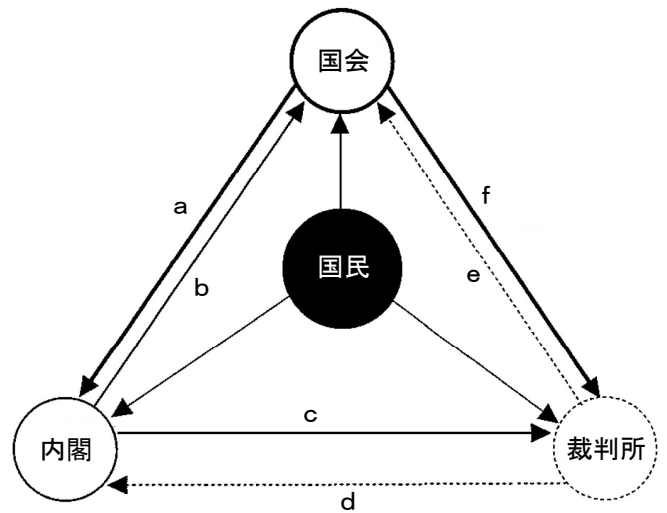
ウ 思想や学問の自由

カ 子どもに教育を受けさせる義務

- (3) 三権分立を示した資料 3 を見て、①、②の問いに答えなさい。

- ① 国会、内閣、裁判所のそれぞれにあてられている権力のうち、内閣にあてられている権力を何といいますか。その権力の名を書きなさい。

資料 3



- ② 資料 3 中の a～f の矢印のうち、a と e にあてはまる内容を、次のア～カからそれぞれ 1 つずつ選び、記号で書きなさい。

ア 内閣総理大臣を指名する。

イ 衆議院の解散を決める。

ウ 裁判官をやめさせるかどうかの裁判を行う。

エ 法律が憲法に違反していないかどうかを調べる。

オ 政治が憲法に違反していないかどうかを調べる。

カ 最高裁判所長官を指名したり、ほかの裁判官を任命したりする。

4 右の年表を見て、あとの問いに答えなさい。

(1) 資料1は、佐賀県にある、下線部aの時代を代表する遺跡です。この遺跡の名前を、下のア～エから1つ選び、記号で書きなさい。

資料1



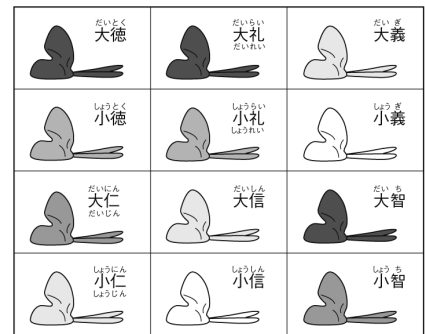
- ア 登呂遺跡 イ 三内丸山遺跡
ウ 吉野ヶ里遺跡 エ 纏向遺跡

年代	おもなできごと
1～3世紀	a <u>米づくりが各地に広がる</u>
593	b <u>聖徳太子が摂政</u> となる
645	c <u>新しい政治が始まる</u>
710	奈良に都が置かれる
794	d <u>京都に都が置かれる</u>
1192	e <u>源頼朝が征夷大將軍</u> となる
1333	鎌倉幕府がほろびる
1467	f <u>応仁の乱がおこる</u>

(2) 資料2は、下線部bが定めた冠位十二階によって分けられた冠の種類を示しています。下線部bがこの制度を定めた目的を、次のア～エから1つ選び、記号で答えなさい。

- ア むらとむらとの争いをやめさせるため。
イ 中国の進んだ政治のしくみを取り入れるため。
ウ 役人を、家からではなく、才能や功績で取り立てるため。
エ たくわえをもつ者ともたない者の身分の差をなくするため。

資料2



(3) 下線部cについて述べた次の文章中の(①), (②)にあてはまる語句を書きなさい。

聖徳太子がなくなった後、(①)氏の力が天皇をしのぐほど強くなり、これをみた中大兄皇子と中臣鎌足は、645年に(①)氏をほろぼした。その後、皇子たちは、中国から帰国した留学生とともに、天皇を中心とする国づくりを始めた。この政治改革を(②)という。

(4) 下線部dの時代になると、朝廷の政治を貴族の一部が動かすようになりました。中でも、中臣鎌足の子孫の一族は、天皇とつながりを持って大きな力を持ちました。資料3は、その一族が最も大きな力を持っていたころの人物がよんだ歌を示しています。この歌をよんだ人物の名前を書きなさい。

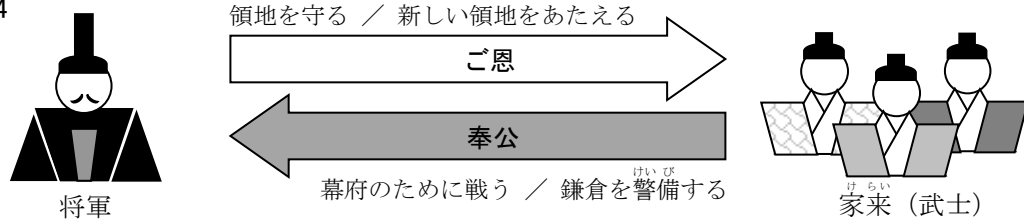
資料3

この世をば わが世とぞ思ふ
もち月の かけたることも
なしと思へば

(5) 下線部 e が開いた鎌倉幕府について、①、②の問いに答えなさい。

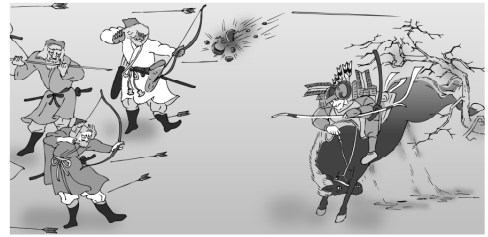
① 下線部 e は、武士をしたがえるために、資料 4 のようなしくみを考えました。資料 4 のように、「ご恩」と「奉公」の関係で将軍とむすばれた武士を何といいますか。その名前を書きなさい。

資料 4



② 資料 5 は、日本をしがえさせようとして、九州北部をせめてきた国の兵士と戦っている①を示しています。日本をせめてきた国の名前を、漢字 1 字で書きなさい。

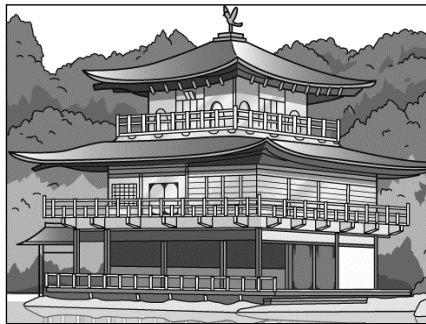
資料 5



(6) 下線部 f と同じ年に、水墨画の勉強をするために、ある人物が中国に渡りました。中国で約 2 年のあいだ水墨画の修行をして、帰国後に水墨画を日本風の様式に完成させた人物はだれですか。その人物の名前を書きなさい。

(7) 資料 6～8 は、年表で示した時代につくられた寺院や仏像を示しています。資料 6～8 について、①、②の問いに答えなさい。

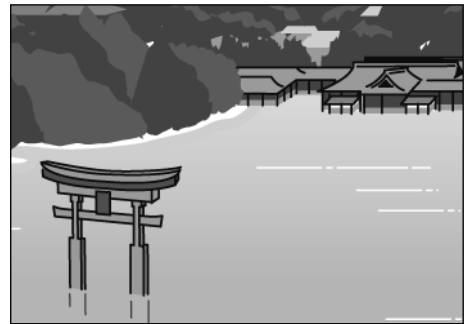
資料 6



資料 7



資料 8



① 資料 6～8 がつくられた時代の社会のようすについて述べた文を、次のア～ウからそれぞれ 1 つずつ選び、記号で答えなさい。

ア 武士どうしの争いに勝った一族が、朝廷の中でも重い役につき、政治を思うままに動かすようになった。

イ 幕府の役所を室町に置いた将軍の時代に幕府の力が最も強まり、中国との国交を開いて、貿易を始めた。

ウ 全国各地で災害や反乱がおこったり、都で病気が流行したりして社会全体に不安が広がったため、仏教の力で社会を安定させようとした。

② 資料 6～8 を、年代の古い順にならべかえ、記号で答えなさい。